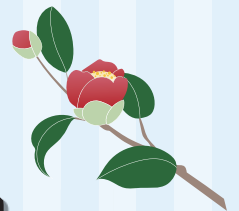


鳥取県社協だより

志あわせ



冬号

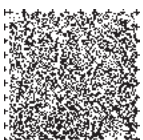
Shi-a-wa-se-e



切り絵：虎の狛犬（賀露神社）／紙原四郎氏（とっとりいきいきシニアバンク登録）

第237号

令和4年
1月1日発行



◆ 主 な 項 目	■ 今日の眼 鳥取県社会福祉協議会 会長 藤井 喜臣 2
	■ 「支え合い」の本質と意味づけを考える ～生活支援コーディネータースキルアップ研修～ 2
	■ 社会福祉法人の目指す形 ～えんくるり事業 地域貢献セミナー～ 3
	■ 社会福祉法人の力を集結 ～社会福祉法人連絡会の取組み～ 3
	■ 社会福祉法人による「地域における公益的な取組」紹介 4～5
	■ 災害時の迅速な支援に向けて災害用資材倉庫設置 6
	■ 介護福祉士修学資金等貸付事業の御案内 7
	■ 鳥取県保育士・保育所支援センターの活動紹介 8
	■ あいサポーター研修公開講座（オンライン開催）のご案内 9
	■ 医療・福祉現場におけるカスタマーハラスメント対策 ～不当なクレーム・カスハラから職員を守り人材定着率を高める～ 9
	■ 介護の入門的研修を開催 10
	■ 令和3年度鳥取県高齢者健康運動会 10
	■ とっとりいきいきシニアバンク 11
	■ 因幡地区郵便局長会 2021年度使用済切手等贈呈式 12
	■ 御寄付御礼 12
	■ 賛助会員を募集しています 13
■ Facebookで情報発信しています!! 13	
■ 赤い羽根共同募金 14	
■ 鳥取県福祉研究学会 創立15周年記念研究発表会のご案内 16	

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修・会議等中止・延期しているものがあります。詳しくは鳥取県社協ホームページ（<http://www.tottori-wel.or.jp>）でご確認ください。

「視覚障害者用活字読み上げ装置」に対する、活字文字をコード化した「SPコード」を掲載しています。



鳥取県社会福祉協議会 会長
藤井 喜臣



明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症に苦しめられた一年でしたが、年の終わりには感染が減少傾向となり、新しい年へ向けての明るさも感じられました。

今年の干支は「壬寅(みずのえ・とら)」です。～厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎になる～そんなイメージを抱かせる年ということ。新型コロナウイルス感染症への防御をしっかりとしながら、疲弊された皆さんが、日常生活を取り戻し、経済の回復を実感できる令和四年であって欲しいと思っています。

まずは、「新型コロナ特例の生活福祉資金」の必要な方への貸し付け、既に借り受けられた皆

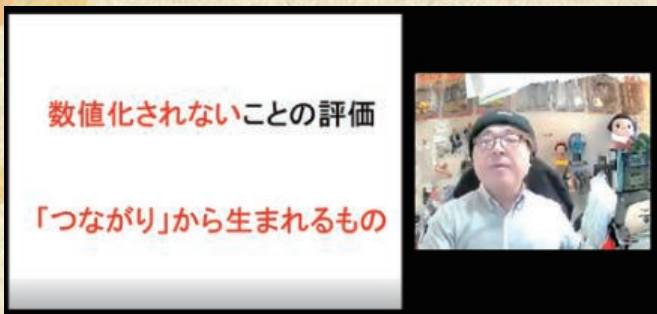
さん方への償還免除の手続きを含む適切なフォローが、私たち社会福祉協議会には求められています。そして、「福祉社会」を「幸せ(志あわせ)な社会」と置き換えるならば、多岐にわたる課題が山積している今、多くの県民の皆さん、とりわけ、社会福祉に携わる人たちと連携・協働して、県社会福祉協議会の基本理念である「地域福祉の推進とみんなでつくる福祉社会の実現」へ向けて歩みを進めなければならないと、志しを新たにす

る次第です。
年末恒例の今年(令和四年)を表す漢字が「福」又は「幸」であって欲しいと願うのは、気が早すぎるでしょうか？

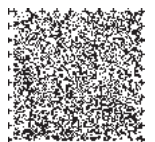
生活支援コーディネーターが業務を進める上で課題と感じるテーマを取り上げ、課題解決のための実践的なスキルの習得を図ることを目的として、令和3年10月8日と12月8日の2回シリーズでスキルアップ研修を開催しました。
講師は、7月に開催した養成研修に引き続き、ご近所福祉クリエーターの酒井保さんに務めていただきました。第1回目は、「地域への入り方・交わり方の極意と実践」、第2回目は、「地域資源の見せる化と共有のプロセスを学ぶ」お宝発見と意味づけ」をテーマに講義と演習に取組みました。
研修では、介護保険制度改正で始まった生活支援体制整備事業を住民に対して、何から・どう説くのか。入口を間違えると制度で出来なくなったことを「支え合い」で補完するという理解が生まれる。地域の支え合いと介護保険制度、介護予防、地域包括ケアをつなげて説いていく必要性についてご示唆をいただきました。
また、生活支援体制整備事業の効果

「支え合い」の本質と意味づけを考える
～生活支援コーディネータースキルアップ研修～

を評価するにあたって、サロンの数やサービスの実施頻度だけに目を向けるのではなく、数値化されない自然の支え合いに目を向け、地域住民自身も「支え合いだ」と気が付いていない「気にかかけ合う関係」に注目した「地域づくり」について、地域の「お宝探し講座」の実践を通じて学びながら、支え合いの本質と意味づけを考える研修となりました。



酒井さんの講義（オンライン）





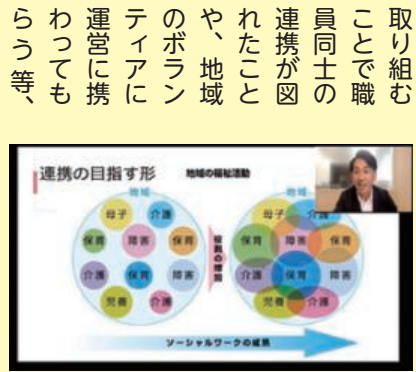
社会福祉法人連携の目指す形

えんくるり事業 地域貢献セミナー

9月27日に「地域貢献セミナー」（鳥取県社会福祉施設経営者協議会共催）をオンラインで開催しました。本セミナーは、各法人の地域における公益的な取組をさらに促進し、法人連携による支援のネットワークの拡充を図り、より充実した支援につなげることを目的として、今年度新たに実施しました。

講演では、兵庫県神戸市の社会福祉法人すいせい理事長で、ほっとかへんネットたるみ前代表の岸田耕二氏をお招きしました。岸田氏は鳥取県北栄町出身で、地元でのエピソードなどを交えてお話いただき、参加されたみなさんも身近に感じられたようです。また、厚労省の社会福祉法人に関する各種検討会に参考人として出席されるなど全国区で活躍されています。

岸田氏からは、法人が連携して地域活動などを展開しているほっとかへんネットたるみでの取組を通じ、社会福祉法人としてあるべき姿や社会福祉法人が連携する意義やメリットについてお話いただきました。実践報告では、鳥取こども学園の竹本智恵氏から「おたべ食堂」（子ども食堂）の取組みについて、ご報告いただきました。法人が連携して



岸田氏による講演

取り組むことで職員同士の連携が図れたことや、地域のボランティアに運営に携わってもらう等、

参加者からは「改めて社会福祉法人が地域に存在する意味や地域の課題などに法人の強みや専門性をどう活かしていくのかを考えさせられた」「具体的な取組みを聞くことができ、今後自法人で取組みを進めていくうえで大変参考になった」などの声がありました。

えんくるり事業では、地域での課題を共有し支援につなげていくための場として、法人連絡会の開催などを支援し、法人連携を促進しながら地域での困りごとや課題をきめ細かにキャッチし、支援につなげていく体制づくりをより一層進めていきます。

社会福祉法人の力を集結

社会福祉法人連絡会の取組み



社会福祉法人が連携し、各法人の力を活かして地域の困りごとや課題等に対応していくため、市町村圏域において法人連絡会を開催しています。ここでは琴浦町と境港市の取組を紹介いたします。

【琴浦町】
10月19日に、今年度第1回の法人連絡会が開催され、今後の取組みの方向性について話し合われました。

琴浦町では平成30年から3法人が連携して子ども食堂「琴浦」にこ食堂を実施していますが、新型コロナウイルスの影響で昨年度から休止となっていました。

そこで、琴浦町社協から「にっこにこ食堂の取組みが進められない中、他にも法人としてできることがあるのではないか、それを具体的に検討していく場が必要ではないか」との提起があり、今後各法人で直接地域住民と関わっている職員が集まる場を設定し、より具体的な地域でのニーズや困りごとなどを共有し、地域で必要とされる支援を検討していくこととなりました。

【境港市】

11月30日に今年度第1回の法人連絡会が開催され、今後の事業展開について話し合われました。

境港市では今年度から市社協と市子

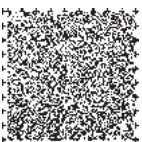
育て支援センターとが連携して巡回型子ども服リユースに取り組んでいます。この取組みを充実させていくため、参加された法人へ協力を呼びかけ、各法人のイベント等での出展等を計画されています。

また、この取組みのなかに生活困窮者やひとり親世帯などの相談窓口としての機能を持たせていきたいとの提案があり、今後各法人がどのように関わっていくかを検討していくことになりました。

子ども服リユースを利用された方の中には、子育て支援センターの存在を初めて知ったという方もおり、そうした相談先の情報を得る機会ともなっており、今後の展開が期待されます。

【法人連絡会開催・設立状況】

市町村	設立時期	令和3年度開催状況
鳥取市	令和2年度	年度内に開催予定
米子市	平成29年度	年度末に開催予定
境港市	平成28年度	11月30日
八頭町	今年度中(予定)	10月21日(準備会)
琴浦町	平成29年度	10月19日、12月13日



社会福祉法人による

「地域における

公益的な取組」紹介



社会福祉法において、社会福祉法人の責務化とされている「地域における公益的な取組」について、県内の社会福祉法人の取組をシリーズで紹介しています。

今回は、愛光会と鳥取市社会福祉協議会の取組を紹介します。

愛光会

子ども食堂を通じて支援

～母子生活支援施設が運営する

子ども食堂～

取組みの経緯

愛光会では、母子生活支援施設として様々な子育て世帯と関わる中で、仕事や育児に追われ、生活にゆとりがないために親子関係がうまくいかないといった現状を目の当たりにしてきました。

そこで、食事の準備や片づけの心配をせずゆとりと食事をする機会を提供することで、生活にゆとりをもってもらうと、平成

29年から施設を活用して子ども食堂「のぞみおやこ食堂」を開設しました。

取組み内容

食堂は月に2回（隔週金曜日）に開催し、毎回20人程度の利用があります。「おやこ食堂」と称していますが、対象は親子に限らず、地域の方どなたでも受け入れられています。新型コロナウイルスの影響で昨年からは会食を中止し、弁当の配布に切り替えて実施したところ利用者が増えており、ニーズの高さがうかがえます。

また、学習支援も併せて行っており、子ども同士が誘い合って学習に取り組んでいます。

取組みの成果や課題

- ・これまで家で保護者の帰りを一人で寂しく待っていた子どもたちにとつて、新たな友達や信頼できる大人と出会う場所ができて、楽しく食事ができています。
- ・地域の高齢者と子どもたちが交流する機会が生まれ、高齢者にとつての活力にもなっています。
- ・施設に食堂があることで、退所した世帯が食堂を通じて施設との関わりを持続でき、支援を継続して行うことができている。

- ・地域の方の食堂への関心が高く、ボランティアで運営に関わっていただいたり、食材を提供していただいたりするなど、地域ぐるみでの子育て支援となつています。

- ・潜在的なニーズがあると感じており、それに対応できるよう開催回数や食事数などを増やしていきたいが、現状では難しいと感じています。

活動者コメント

- ・食事をとるときの子どもたちの笑顔を見て、とても喜びを感じることができ、励みになっています。

- ・地域の方や施設職員がこれまでの子育ての経験を活かし、同じ子育て仲間として調理の時短方法などを教える機会ができて、やりがいにつながっています。

利用者の声

- ・食堂がある日はいつもより元気に学校に行くことができている。

- ・いつも仕事で疲れ切って帰宅しています。月に2回でも食堂があると本当に助かります。

- ・子どもの食が細く、好き嫌いが多いので困っていましたが、不思議なことに食堂ではたくさん

食べ、嫌いな野菜も食えることができました。お友達と一緒に食べると食欲が出るようです。



事例提供法人

社会福祉法人愛光会

所在地／八頭郡八頭町宮谷222

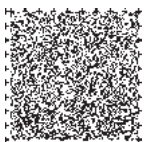
電話番号／0858(73) 0139

FAX／0858(73) 0149

法人HP／<http://aikoukai.sakura.ne.jp/>

他に実施している公益的取組み／

児童虐待ネットワークへの加入、生計困難者に対する相談支援事業



鳥取市社会福祉協議会

ランドセルリサイクル事業

～ランドセルお譲りします～

取組みの経緯

子育て世帯にとつて、就学にかかる学用品、特にランドセルや制服などは高価なもので、経済的な負担となっており、そうした負担を軽減し、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう応援していくことと、令和2年2月からランドセルリサイクル事業を実施しています。

取組み内容

ご家庭で使われなくなったランドセルを募集し、鳥取市内に居住し、小学校に翌年度入学又は在学中の児童の保護者を対象として、必要とされているご家庭へ無料で譲渡しています。

広報誌やホームページ、市内の保育園や幼稚園、小学校へのチラシ配布などにより募集や譲渡の案内を行い、これまで70個のランドセルの寄付があり、18個を必要なお家庭にお譲りすることができました。



取組みによる成果

・子育て世帯の経済的な負担の軽減につながっており、必要とするご家庭へ譲渡ができています。
・使わなくなった学用品を有効的に活用できています。

取組みの課題

・本来に必要なとする家庭へ情報が行き届いているのか、周知方法の検討が必要です。
・譲渡数が少ないため、在庫が多くなり、現在はランドセルの寄付を休止しています。ニーズの掘り起こしや譲渡方法などを見直し、必要な方へ届けられるよう検討しています。

活動者コメント

ランドセルを必要とされる方が喜んで帰られる姿を見てとても

やりがいを感じています。

・地域の皆様からのご厚意でいただいたランドセルを必要な方にしっかりと届けられるよう工夫していきたいです。譲渡を希望・検討される方は、まずは電話でお気軽にお問い合わせいただきたいです。

利用者の声

・就学時には何かと費用がかかり負担となっていたので、ランドセルを譲渡してもらえてありがたいです。

・学校の制服や用具等のリサイクルがあるとうれしいです。

・学童に必ず使用する制服や帽子等の交換ができるとうれしいです。

今後の展開

ランドセルだけでなく、制服など他の学用品を必要とされる家庭もあるので、ニーズを把握しながら検討していきます。

また企業等でも同様の事業を展開されているところもあるので、そうした企業等との連携を図ることも検討していきたいです。

事例提供法人

社会福祉法人鳥取市社会福祉協議会
本所所在地

鳥取市富安二丁目104-2

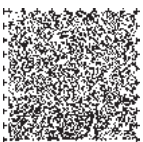
電話番号 / 0857 (24) 31800

FAX / 0857 (24) 3215

法人HP / [http://www.tottoricity-](http://www.tottoricity-syakyo.or.jp/)

syakyo.or.jp/

他に実施している公益的取組み / 生計困難者に対する相談支援事業 (えんぐるり事業)



災害時の迅速な支援に向けて 災害用資材倉庫設置

災害時のボランティア活動の支援については、市町村社会福祉協議会が中核となって「災害ボランティアセンター」を開設し、多くのボランティアの受入れや被災者支援の活動調整を行っており、平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震では平成29年3月31日までに延5,392人のボランティアがブルーシート張りや家財の片づけ等の支援活動を行いました。

ボランティア活動の資機材は、ボランティア自身で準備することが基本ですが、学生等、準備することができないボランティアもおられ、災害ボランティアセンターでも活動資機材を用意することが一般的になっています。

一方、災害ボランティアセンターの設置・運営の中核である市町村社協における資機材の確保については、災害発生した都度、行政や県社協等に相談することになっているところが多く、平時から十分に確保しているところはありません。これまで鳥取県社協では、被災地から資機材の支援要請を受けた際には、都道

府県社協等から借用できるよう支援調整をしてきましたが、近年、複数県にまたがる大規模災害が発生しており、今後、同様に借用することができない可能性が生まれました。

そこで、鳥取県社協では、速やかに被災市町村への支援が開始できるよう、災害ボランティア活動にかかるとる資機材を備蓄するための災害用資材倉庫を、令和3年11月に県立福祉人材研修センター敷地内に設置しました。

今後は、引き続き、市町村域において災害時のボランティア活動に必要な準備を促していくとともに、関係団体の協力を得ながら、災害用資材を確保し、災害に備えていきます。



■ 問い合わせ先 災害福祉支援センター ☎0857-30-6367 ■

MORRIX JAPAN Corp.



私たちは人にやさしい快適環境を創造し、
未来をデザインするヒューマン企業です。

介護・自立支援・栄養管理・勤怠・給与・会計・セキュリティシステムから
介護用品まで介護現場をトータルでサポート致します。
お客様の環境と問題点をお聞きし、事務の効率化、介護現場の効率化を共に
考え最適なシステムをご紹介します。

■ 当社の取扱い介護・自立支援・栄養管理システムメーカー ■

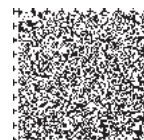
ND ソフトウェア株式会社 (ほのぼの NEXT)
株式会社 ワイズマン
株式会社 東経システム (福祉見聞録)
株式会社 日立システムズ (福祉の森)
株式会社 コーエイコンピュータシステム (EIBUN)

株式会社 モリックスジャパン

本社 〒680-0912 鳥取県鳥取市商栄町 203-6
TEL 0857-23-3641 FAX 0857-22-3329

倉吉店 〒682-0807 鳥取県倉吉市幸町 529
ユーミーレジデンス 1-3 号
TEL 0858-24-5451 FAX 0858-24-5452

モリックスジャパン



介護福祉士修学資金等貸付事業の御案内

いずれの資金も条件を満たした場合、**貸付金の返還免除申請権**が取得できます。
(ただし、返還免除の適用は申請権を取得した上で権利の行使が必要です)
また、いずれの資金も資力のある連帯保証人を1名立てる必要があります。
制度利用に関する詳細については、本ページ下部の問合せ先へ御照会ください。



(1) 介護福祉士修学資金貸付事業 及び 社会福祉士修学資金貸付事業

介護福祉士資格取得を目指し介護福祉士養成施設に在学する方、及び社会福祉士資格取得を目指し社会福祉士短期養成施設又は社会福祉士一般養成施設に在学する方の内、資格取得後は鳥取県内の事業所で資格を用いた業務に従事する予定の方に学費等の費用を貸付することで、国家資格の取得をサポートします。

- 貸付金額 ①修学費 毎月5万円以内(在学期間を貸付対象、留年期間は対象外)
- ②入学準備金 20万円以内(養成施設入学年度のみ1回限り)
- ③就職準備金 20万円以内(養成施設卒業年度のみ1回限り)
- ④試験対策費 4万円以内(介護福祉士養成施設在学者のみ卒業年度に1回限り)
- ⑤生活費加算 毎月生活保護法の級地区分額(生活保護世帯又は準要保護世帯のみ)

【用途例】①=養成施設在学中の学費 ②=入学時の支度費 ③=就職活動時及び就職時の支度費
④=国家資格試験受験費用 ⑤=養成施設在学中の生活費 等

(2) 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業

介護福祉士資格取得を目指し介護福祉士実務者研修施設に在学する方の内、資格取得後は鳥取県内の事業所で介護職員として業務に従事する予定の方に受講費用等を貸付することで、国家資格の取得をサポートします。

- 貸付金額 ①実務者受講資金 20万円以内(1人1回限り)

【用途例】受講資金、参考図書等、国家資格試験受験費用 等

(3) 離職した介護人材の再就職準備金貸付事業

介護職員を退職後1年以上経過している潜在化した介護人材(介護福祉士資格、介護職員初任者研修修了等一定の知識・経験を持つ方)が、鳥取県内の事業所で介護職員等として再就職する場合、就職時に必要な費用を貸付することで、再就職をサポートします。

- 貸付金額 40万円以内(1人1回限り)

【用途例】介護職員として働く際に必要となる靴・被服・道具・鞆、就職に伴う転居費用、通勤用自転車・バイク購入費、等

(4) 介護分野就職支援金貸付事業 及び 障害福祉分野就職支援金貸付事業

他業種を退職し、鳥取県内の事業所で介護分野又は障害福祉分野に就職が決まった、介護職員従事経験の無い新たな介護人材(介護職員初任者研修修了等一定の技能を習得した方)に就職時に必要な費用を貸付することで、転職をサポートします。

なお、就職する施設の種別(介護分野又は障害福祉分野の別)により、利用する事業が変わります。

- 貸付金額 20万円以内(1人1回限り)

【用途例】介護職員として働く際に必要となる靴・被服・道具・鞆、就職に伴う転居費用、通勤用自転車・バイク購入費、等

(5) 福祉系高校修学資金貸付事業 及び 福祉系高校修学資金返還充当資金貸付事業

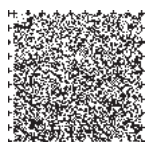
介護福祉士資格取得を目指して福祉系高校に在学する方の内、資格取得後は鳥取県内の事業所で介護職員として業務に従事する予定の方に学費等の費用を貸付することで、国家資格の取得をサポートします。

なお、就職する事業所が介護保険制度の福祉サービス事業所以外の介護業務を実施する事業所の場合は、福祉系高校修学資金貸付事業から福祉系高校修学資金返還充当資金貸付事業に借り換えが必要となります。

- 貸付金額 ①修学準備金 3万円以内(福祉系高校入学年度のみ1回限り)
- ②介護実習費 毎年3万円以内(在学期間を貸付対象、留年期間は対象外)
- ③国家試験対策費 毎年4万円以内(在学期間を貸付対象、留年期間は対象外)
- ④就職準備金 20万円以内(福祉系高校卒業年度のみ1回限り)

【用途例】福祉系高校における授業料及び入学金への充当は不可

- ①=入学時の被服・教材等 ②=介護実習における被服・教材等
- ③=国家試験受験料、模擬試験受験料、参考図書購入費等
- ④=就職活動時及び就職時の支度費





保育現場で長く働き続けられるサポート
鳥取県保育士・保育所支援センターの活動紹介

鳥取県保育士・保育所支援センターは、鳥取県内の保育士確保を目的とし、平成28年4月に鳥取県社会福祉協議会に設置されました。保育士有資格者や学生の就職支援をはじめ、保育者の職場定着促進に向けた支援や保育に関する情報発信など様々な事業を無料で実施しています（鳥取県委託事業）。

対象職種
 保育士、保育教諭、
 幼稚園教諭、子育て
 支援員 など

令和3年度、新たな取組みをスタートしています！

6年目を迎えたセンターでは従来の事業に加え、「保育の未来人財を呼び込む魅力発信事業」を新たに実施しています。保育・保育士の魅力を保育現場の皆さんと一緒に発信していきます！

★見て！聞いて！魅力ある私たちの職場 保育の魅力発信フェス

YouTubeで動画配信をはじめました。



鳥取県内の教育・保育施設（保育所、認定こども園、幼稚園）、地域型保育、届出保育施設、児童福祉入所施設を運営する法人が動画を作成し、若手保育士等が職場の特徴や仕事の魅力を発信しています。（令和4年3月末まで）

右上の2次元コードを読み取りいただくか、鳥取県保育士・保育所支援センターホームページからアクセスし視聴してください。（YouTubeサイトに移動します）

本イベントは、8月に倉吉市で開催予定のイベントが新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため中止となったため、代替として各法人がオンラインで『保育の魅力』を発信するものです。

【お問い合わせ】 鳥取県保育士・保育所支援センター

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 TEL 0857-59-6342 FAX 0857-59-6341

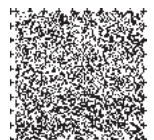
メール hoikucenter@tottori-wel.or.jp

ホームページ <http://www.tottori-wel.or.jp/p/jinzai/3/>

利用時間/月～金 8：30～17：00（祝日、年末年始は除く）



Facebookで
 情報発信しています



■ お問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6336 ■



あいサポーター研修公開講座 (オンライン開催)のご案内

鳥取県では、様々な障がいの特性、障がいのある方が困っていること、障がいのある方への必要な配慮などを理解し、日常生活でちょっとした配慮を実践していく“あいサポーター”の活動を通じて、誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）を皆さんと一緒につくっていく“あいサポート運動”を推進しています。

このたび、県民の皆さんに本運動への理解をいただき、広く県内にあいサポーターの輪を広げていくため、あいサポーター研修公開講座をオンライン開催します。

日 時 令和4年1月21日（金）13：20～15：30

開催方法 zoomを使用し、オンライン開催

内 容 ・あいサポーター研修
・ミニ講座「知的障がいの理解と就労支援について」
ゲストスピーカー：一般社団法人鳥取県手をつなぐ育成会 会長 大谷 喜博 氏

※開催日の10日前までにファクシミリ、電子メールにて本会事務局へお申込みください。

■ 問い合わせ先 福祉振興部 ☎0857-59-6344 ■



医療・福祉分野事業所向けオンラインセミナー開催のご案内

医療・福祉現場におけるカスタマーハラスメント対策 ～不当なクレーム・カスハラから職員を守り人材定着率を高める～

医療・福祉の現場で働く人が一部の利用者や家族から受けるカスタマーハラスメントが問題になっています。

このような行為を防止することは、医療・福祉業界においても、人材確保や安心して働ける職場環境を整備するうえでも不可欠です。また、利用者の皆様によりよいサービスを継続して利用していただくことにもつながります。

本セミナーは、カスタマーハラスメントの基礎知識や対処方法を学び、職場環境や利用者サービスの向上を目的に開催します。

日 時 令和4年2月16日（水）13：30～16：00

参加対象 医療・社会福祉施設を営む法人の経営者、管理者、人事労務担当者等

開催方法 オンライン研修（Web会議用ソフト Zoom）

講 師 法律相談事務所おかげさま 代表弁護士 外岡 潤 氏

定 員 50事業所（事業所内での複数参加可）

参加費 無 料

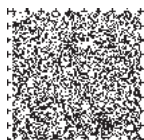
申込期限 令和4年2月9日（水）

主 催 鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会
社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会

【お申し込み・お問い合わせ先】 鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会事務局

TEL：0857-26-8477 Fax：0857-26-8336

メールアドレス：tottorichipro@pref.tottori.lg.jp



「令和3年度 介護の入門的」研修を開催



介護に関心がある方を対象に、「介護する人、される人が、お互いを支え合いながら安心して生活するにはどうすれば良いかなどを考えるきっかけを作っていただく」と、介護の入門的研修を6月から11月にかけて東部・中部・西部の3会場で開催し、52名が修了されました。

受講者からは「介護についての基本を理解することができた。」「家族（両親）の介護に役立てることができる」「講師の実体験を踏まえた話なので分かりやすかった」「資格や経験がなくても受講しやすかった」などの声が聞かれました。

介護の経験がない方にも、介護の基礎を現役の介護福祉士の講師が分かりやすく実技を交えながらお伝えし、家庭や地域において介護が必要になった時の不安感を解消できる研修となりました。また、人材不足が叫ばれる中、介護人材の養成につながっていく事を期待します。

介護人材をより多く発掘できるように来年度も同様の研修を開催予定です。家庭や地域での介護に関心がある方、介護の基礎を学び、介護施設で働いてみたい方など、多くのご参加をお待ちしています。



■ 問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6336 ■

令和3年度 鳥取県高齢者健康運動会



高齢者健康運動会を開催しました。この運動会は、スポーツ競技を通して日常生活における健康づくりや仲間作りの大切さを認識し、活力ある長寿社会になるための健康づくりを目的として毎年開催しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加人数を減らし規模縮小、競技種目を減らすなど形式を変更しての開催となりました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、令和2年度は県内3地区全て中止としたため1年振りの開催となりました。

競技種目は、個人種目の福つり、団体種目の関所破り、ラダーゲッターの3種目を行い、初めて取り入れたラダーゲッターは、何度も練習されているチームや、初めて競技するチームなど様々でしたが、大いに盛り上がりを見せました。

〈東部地区〉

日時 令和3年11月9日（火）
会場 ヤマトスポーツパーク
県民体育館

参加人数 197人
成績 関所破り

優勝 河原町

◆ラダーゲッター

優勝 若桜町

〈中部地区〉

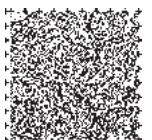
日時 令和3年9月30日（木）
会場 倉吉体育文化会館

◆新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止

〈西部地区〉

日時 令和3年10月22日（金）
会場 米子産業体育館

◆新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止



■ 問い合わせ先 地域福祉部 ☎0857-59-6332 ■



鳥取県の人材銀行・とっとりいきいきシニアバンク「生涯現役」は、60歳以上の元気な県民の資格や特技、技能など、その豊かな人生経験をご登録いただき、県民の生涯学習や地域づくりにご活躍いただいています。

登録者はただいま6,400人余り、多士済々のお宝人材がそろっています。県民の求めに応じて、去年も約1,200人の登録者ががんばりました。そのナイスなシーンを写真で紹介しましょう。今年はどのような出会いが待っているのでしょうか。

「こんなことを計画しているが、教えてくれる人はいないか」「公民館まつりを盛り上げてくれる人を紹介してほしい」「詩吟をやっている仲間がほしい」など、なんでも結構です。お気軽に「生涯現役」事務局（☎0857-59-6336）へお問い合わせください。

ごく一部ですが、どのような分野にどのような人が登録しているか、ご紹介しましょう。プランづくりの参考にしてください。



たたら製鉄跡（日野町）



フォークダンスを楽しもう（鳥取市）



フラダンスを楽しもう（湯梨浜町）



マリオネットであそぼう（鳥取市）

分野	登録者・登録団体（敬称略）
マジック	米子マジック同好会、山下真一郎
落語	桂文吾、松風軒倉山
民謡、郷土芸能	松弘美会、淀江さんご節保存会、因伯音、鳥取弦声会
民謡・フォークダンス	鳥取県民謡指導者連盟、鳥取県フォークダンス連盟
社交ダンス	ボールルームダンス協会、佐分利育代、石田美千子
民話	ととりの民話を語る会、倉吉民話の会、有本喜美男
おやしバンド	港ベンチャーズ、鳥取ベンチャーズ
楽器演奏	一音会、倉吉打吹太鼓、河下哲志、門脇康一
歌・カラオケ	鳥取大衆音楽協会、西村光司、柳井沙羅
まちづくり	歴史大河ドラマを推進する会、伯耆国たたら顕彰会、放哉の会
人形劇・腹話術	劇団どんぐり、おはなしドン、近藤勢津子
紙芝居	伯耆・伝承隊、平家六栄、杉原幹雄
南京玉すだれ	南京玉すだれ山陰保存会、どじょっこの会
レクリエーション	吉田良平、玉木純一、石田倫義
まち歩き	米子観光まちづくり公社、倉吉観光MICE協会、いわみガイドクラブ
山歩き	鳥取県山岳・スポーツライミング協会、奥日野ガイド倶楽部
ものづくり	鳥取・中部・米子ものづくり道場、米子福生風の会
健康マージャン・脳トレ	鳥取県健康マージャン連盟、米澤章夫
囲碁	野澤勝、谷口健治、菊川貴裕
健康体操・認知症予防	のばなの会、鳥取真向会、谷本徹、安達佳恵、谷口知佐子
謡曲	鳥取県能楽連合会
詩吟詠	吟道翔風流日本吟翔会、鳥取岳風会、詩吟を楽しむ会
似顔絵	川西義人、加藤哲英、福田典高
料理教室、パンづくり	鍛冶木いつ子、松下銀次郎、県漁協婦人部、古池八重子
俳句吟行	鈴木稔、棕誠一郎、佐藤夫雨子、石山ヨシエ、野田哲夫
園芸	小林徳成、山脇信正、長住武美、悠樹盆栽会
フラワーアレンジメント	渡部秀夫、森本知加子、西尾千枝子、岸本美代子
グラウンドゴルフ	鳥取県グラウンドゴルフ協会
万葉集	万葉集朗唱の会、山上愼良の会、中永廣樹



ものづくり体験（鳥取市）



稲刈り（三朝町）



境港の歴史を学ぶ（境港市）



芝居を楽しんでいます（米子市）



匠の技淀江傘（米子市）



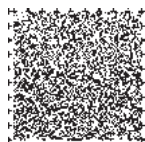
水墨画をまなぼう（琴浦町）



星空を観察しよう（鳥取市）



備中松山城登山（倉吉市）





第19回 鳥取県民生児童委員児童委員大会を開催しました

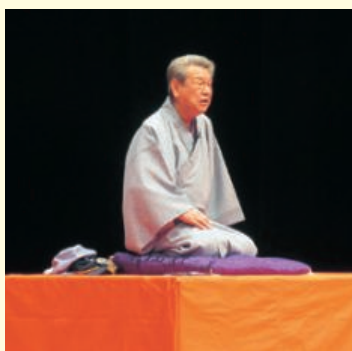
令和3年12月2日に第19回鳥取県民生児童委員大会を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、規模縮小での開催となりましたが、約600人の方に御参加をいただきました。

本大会において、民生委員児童委員として在任期間が令和3年12月31日現在で、通算6年以上となる265名の方へ、田中俊幸会長より感謝状の贈呈を行いました。

また、鳥取県民生児童委員協議会、八頭町民生児童委員協議会、2地区による活動発表をいただき、委員活動について学びを深めました。

さらに、記念講演として、桂小文吾 改メ 六代目 桂 文吾 師匠にお越しいたごき、笑うことの大切さについてお話しいただいた後、落語を御披露いただき、会場は笑いに包まれ、気持ち前向きになるような元気をいただきました。

大会の締めくくりにあたり、大



六代目 桂 文吾 師匠



感謝状贈呈

会宣言を採択し、「誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる社会」の実現に向けて決意を新たにしました。

鳥取県民生児童委員協議会は誰もが住みよい地域づくりのため、これからも地域とともに、活動に邁進して参ります。

■ 問い合わせ先 地域福祉部 ☎0857-59-6332 ■



因幡地区郵便局長会より地域貢献活動の一環として、未使用切手、使用済み切手、書損し等の寄付がありました。

11月18日に県立福祉人材研修センターで行われた贈呈式には、関係者約15名が参加。郵便局長会の谷口会長が、「地域の多くの皆様方から寄せられたご厚意を社会に役立てていただきたい」と、鳥取県社会福祉協議会へ目録と未使用切手等が手渡されました。

いただいた未使用切手等は、社会福祉施設や福祉活動を行う団体等に寄贈し、皆様に役立てていただけるよう活用いたします。

■ 問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6336 ■

因幡地区郵便局長会 2021年度 使用済切手等贈呈式

御寄付御礼

(令和3年12月10日現在、順不同)

御寄付を賜り誠にありがとうございました。御意志に従い活用させていただきます。

【地域福祉振興基金】への御寄付（生活困窮者に対する支援など、地域福祉の推進を支援します）

鳥取県大衆音楽協会 会長 西谷 勝歳 様

【交通遺児福祉資金】への御寄付（県内の交通遺児への激励金を支給します）

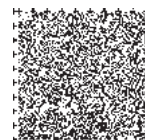
学校法人聖心幼稚園 園長 松下 裕子 様

【鳥取県ひとり親家庭等高等教育進学支援資金事業】への御寄付

（ひとり親家庭や児童福祉施設に措置または里親に委託された子の

大学等への進学を支援します）

個人 39名 職場 19件



■ 問い合わせ先 総務部 ☎0857-59-6331 ■

賛助会員を募集しています

本会では、地域福祉の推進とみんなで作る福祉社会の実現に向けて、“県民参画による福祉のまちづくり”“安心して暮らせる仕組みづくり”“福祉を担う人づくり”を中心に地域の様々な機関・団体と連携して、安心して暮らせる地域社会をめざしています。

賛助会員の皆様のご協力をいただき、県内の地域福祉をより一層充実していきたいと考えています。本会の趣旨にご賛同いただき、会員としてご支援、ご協力をくださいますようお願い申し上げます。

会費（毎年度） 団体 一口：10,000円
個人 一口：3,000円

【賛助会員になるには】

入会を希望される方は、鳥取県社会福祉協議会ホームページより加入申込書をダウンロードしてください。必要事項を記入の上、本会まで郵送してください。入会申込書受理後、会費納入のご案内をお送りします。

◆申込書送付先◆

〒689-0201 鳥取県鳥取市伏野1729-5 鳥取県社会福祉協議会 総務部



新規会員様ご紹介（令和3年12月1日現在）

手嶋 正生 様 野川 聡 様 小林 敬典 様 林 昭男 様
ご入会いただきありがとうございました。

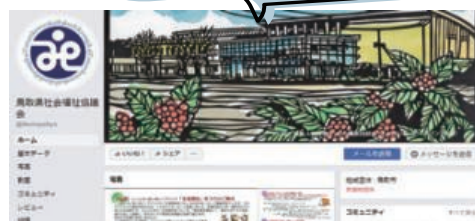
Facebook で情報発信しています！！

鳥取県社会福祉協議会では研修やイベント等の最新情報をFacebookでお知らせしています。



←こちらのQRコードまたは
県社協ホームページからアクセスできます。

※Facebookアカウントをお持ちでない方もご覧いただけます。



新型コロナウイルスの影響により研修・イベント等の開催に変更があった場合、Facebookでもお知らせします。

■ 問い合わせ先 総務部 ☎0857-59-6331 ■

パソコン修理～ 介護ソフト～ 伝送設定～

OA機器 リース メンテナンス
有限会社 松本事務機

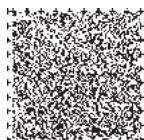


鳥取市千代水2丁目117番地

<http://values.main.jp>

☎ 0857-31-6661

FAX 0857-31-6662





赤い羽根共同募金

～じぶんのまちを良くするしくみ～



つかいみちを選べる募金活動が始まります

地域の福祉課題解決に向けて具体的なテーマを掲げて取組む団体と、鳥取県共同募金会が協働して募金を呼びかける「つかいみちを選べる募金」を行います。本年度は令和4年1月1日（土）から3月31日（木）までの3か月間、4団体が募金活動を展開します。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年度「つかいみちを選べる募金」助成事業一覧

番号	団体名	事業名	募金目標額
1	公益社団法人 とっとり被害者支援センター	犯罪被害者等支援事業	910,000
2	特定非営利活動法人 こども未来ネットワーク	子どもの笑顔発見プロジェクト2022	460,000
3	とっとり子どもの居場所ネットワーク “えんたく”	こども食堂対象文化芸術体験事業	280,000
4	鳥取県腎友会	慢性腎臓病の予防の推進と慢性肝臓病患者への情報発信	320,000
合 計			1,970,000



ハンセン病療養所の入所者の方へお見舞金を贈りました

本会では、ハンセン病療養所で生活をされている鳥取県出身者の方々へお見舞金をお贈りしています。岡山県の長島愛生園については、例年訪問して直接お渡ししていましたが、今年度もコロナ禍により訪問することを自粛することにしたため、お見舞金のみお贈りしました。

ありがとうメッセージ
～NHK歳末たすけあい～

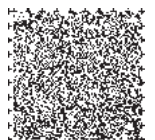


「食事は元気の源！」

特定非営利活動法人 伯耆みらい（伯耆町）

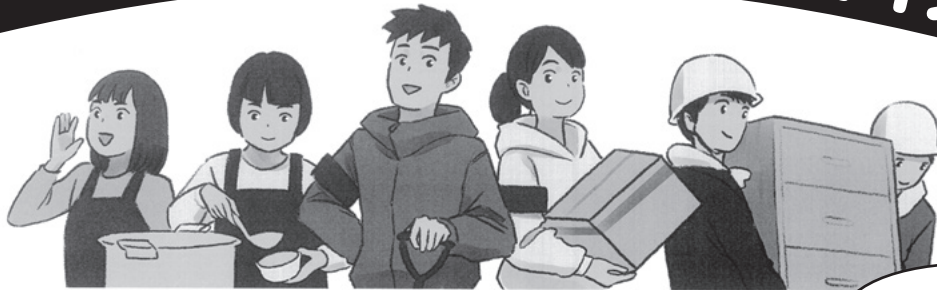
当法人では毎回、ご利用者への昼食を提供しております。

この度は助成金を活用し、松花堂弁当箱を購入させて頂きました。古くなっていた以前の弁当箱と比べ、サイズは一回りコンパクトに、そして見た目は華やかになり、満足度がアップ。今後もご利用者一人ひとりの食べ残しを無くすことで、健康維持や環境問題に目を向ける一歩となるよう取り組んで参ります。



全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

商品パンフレットは
コチラ



(ふくしの保険)
ホームページ

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

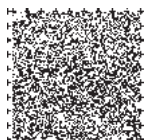
団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00
(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
受付時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。



鳥取県福祉研究学会 創立15周年記念研究発表会のご案内

1. 日 時 令和4年2月26日(土) 10:20～14:45(予定)

2. 会 場 鳥取看護大学・鳥取短期大学
(鳥取県倉吉市福庭854 電話0858-27-2800)

3. 参加対象

- ・鳥取県内に所属・在住する福祉に関する業務に従事している方
- ・福祉に関する調査研究をしている方
- ・その他福祉に関心を持つ団体・個人

4. 内 容

① 10:20～ 研究発表

●口述発表 各分科会において、分野ごとに口述発表

【研究分野】 高齢者福祉(施設系・在宅系)、障がい児・者福祉、児童福祉、地域福祉、その他社会福祉領域

●パネル展示

※それぞれの発表要旨・時間については、2月18日以降に、県社協ホームページをご覧ください。
<http://www.tottori-wel.or.jp/>

② 13:20～ シンポジウム

テーマ 『新型コロナウイルス禍で得た学びをこれからの活かすために』

③ 14:30～ 授賞式

5. 参加申込

「参加申込書」が必要ですので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

6. 参加費等

① 一般参加者・発表参加者 1,000円

② 学生・障がい当事者 500円

新型コロナウイルス等の感染症拡大等のやむを得ない事態が発生した場合、本研究発表会を中止・延期することがあります。中止・延期の場合は、県社協ホームページでお知らせしますので、参加前にご確認ください。

7. オンライン参加

午後に開催するシンポジウムについてはオンライン参加が可能です。申込方法など詳しくは事務局までお問い合わせください。

8. 創立15周年記念企画

創立15周年を記念して、会場パネル展示や記念講演のオンデマンド配信を予定しています。詳細につきましては県社協ホームページに掲載しますのでご確認ください。

9. お問い合わせ先

鳥取県福祉研究学会事務局(鳥取県社会福祉協議会 福祉人材部内)

電話 0857-59-6336 FAX 0857-59-6341

福祉関係者の皆様をはじめ、多くの方々の参加を心よりお待ちしております。

